



最近耳にする「共主体」って何だろう？

保育者と子どもが、

一緒に主役(当事者)になること

「保育者が教える」でも「子どもだけに任せる」でもなく、
双方が共に考え、試して、学び合う関係のことです。

3つの考え方を比べてみよう

△

指示型 (保育者が主役)

- ・ 保育者が手順をすべて説明
- ・ 子どもは指示通りに動くだけ
- ・ 失敗しないようにコントロール
- ・ 子どもが工夫する機会が少ない

×

放任型 (子どもだけが主役)

- ・ 「好きにやってみて」と丸投げ
- ・ 保育者は見守るだけ
- ・ 困っていても声をかけない
- ・ 安全面の配慮が不十分



共主体 (一緒に主役)

- ・ 子どもの「やりたい」から出発
- ・ 保育者も一緒に考え、試す
- ・ 失敗も学びのチャンスにする
- ・ 安全はしっかり確保する

「たねたね大作戦」で見る「共主体」

4月

子どもの姿

保育者の援助

きっかけ

きく組の
たけのこ
ブーム

うめ組にも畑
がほしいな

何か育てたい！

たねは何か
いいかな？

園庭で拾った一粒のたね



なんだろう？

調べるための植物図鑑



プランターで
育ててみたい

土・プランターの準備

看板づくり



5月へ

いちご、トマト、コーン
ドラえもん®の種！
☆ドラえもんを育てたら、(絵本
の世界に入り込める)入り込み
ライトがもらえるかも…

植物図鑑でいろいろな種を調べて
「たね」が気になっている子どもたち。
似てる植物はあったけどわからない…
埋めてみたら、何が育つかわかるかも！

「たねたね大作戦」で見る「共主体」

5月

子どもの姿

保育者の援助

各家庭から集まってきたいろいろな種。プランターに種をまく子どもたち。
はじめて芽が出ているのを発見。



「わあ、芽が出た!」「かわいいね」

子どもたちが可視化できるように



播いた種から
25弱の芽が顔を
出しました

事件発生!! たいへんだ～、芽が引っこ抜かれちゃった～!

大きくなり
ますように



6月へ



どうしたらいい?

触らないでね! 見るだけね! って書こう

追加の看板づくり

「たねたね大作戦」で見る「共主体」

6月

子どもの姿

保育者の援助

だいぶ大きくなってきて狭そうだね

施肥

小

大

大きく育つように大きなプランターに植え替えよう

何で2階にダンゴムシがいるの？
飛んできたんじゃない？

つづく

葉っぱの大きさがいろいろだね
これは手のひらぐらい大きい
これは小さいのがたくさん
早く青リンゴならないかな～食べたい
あさがおのつるがくるくる巻きついてるよ

共主体における保育者の4つの役割

「好きを育み、得意を伸ばす」～保育者という人的環境



声を拾う・受け止める

子どもの「やってみたい」という
気持ちをまず大切に受け止める



問い返す

「どうしたらいいと思う？」と
子ども自身が考える機会をつくる



共に試す

失敗を否定せず、「ここから何が
学べるかな」と一緒に考える



安全を守る

子どもが安心して試行錯誤できる
環境・安全面だけは確保する

まとめ ～ 共主体のエッセンス ～

保育者も主役！というと違和感がありますね
子どもと一緒に「試行錯誤する仲間」になること
と言う方が、よりしっくりくるかもしれません

- ① 子どもの声を拾い、子どもの「やりたい」を大切にする
- ② 失敗も学びのチャンスと捉える
- ③ 保育者も一緒に考え・楽しむ

 『たねたね大作戦』のような「小さな試行錯誤」こそが、子どもの力を育てます